

九州大学経済学部創立 90 周年 記念特別シンポジウム

2014年6月4日(水) 14:50~
@文系(貝塚地区)大講義室



グローバル時代の日本経済と人材育成 ~グローバル・ヒストリーからみた現代日本の課題~

世界情勢の激変に揺れた19世紀日本経済史を専門とするハーバード大学のハウエル教授を招き、その研究成果を踏まえてグローバル人材の育成が叫ばれる現代日本の課題と展望を考察すると共に、今後の国際交流強化を視野に入れた特別講義を学生と教員向けに行う。

★第一部 基礎講演:ハーバード大学 ハウエル教授 "The Economy of Fear: 江戸後期の政治経済"



David L. Howell is Professor of Japanese History at Harvard University. He received his Ph.D. in History from Princeton University. He taught at the University of Texas at Austin and Princeton before joining the Harvard faculty. Howell is the author of *Capitalism from Within: Economy, Society, and the State in a Japanese Fishery* (1995) and *Geographies of Identity in Nineteenth-Century Japan* (2005). Howell's research focuses on the social history of Japan in the Tokugawa (1603-1868) and Meiji (1868-1912) periods. His current projects include a short survey of the Meiji Restoration period, a monograph tentatively entitled *The Economy of Fear in Nineteenth-Century Japan*, and a history of human waste and garbage in the cities of Tokugawa and Meiji Japan.

★第二部 パネルディスカッション・座談会 (ハウエル教授 徳川家廣氏 島津忠裕氏 篠崎教授 鷲崎准教授)



徳川家廣氏略歴 徳川宗家 19代(父は徳川宗家 18代目当主、元日本郵船副社長で徳川記念財団理事長の徳川恆孝氏)。1965年生。慶應義塾大学経済学部卒、ミシガン大学修士(経済学)、コロンビア大学修士(政治学)。国連食糧農業機関ローマ本部、ハノイ支部(ベトナム)勤務などを経て、現在は政治経済評論家。著書『バブルの興亡』(講談社)、『なぜ日本経済が21世紀をリードするのか』(NHK出版)、『自分を守る経済学』(ちくま新書)、『ソ罗斯は警告する』(訳書)ほか。



島津忠裕氏略歴 島津本家 33代(父は島津本家 32代当主の島津修久氏)。1972年生。慶應義塾大学経済学部卒業後、日本興業銀行を経て2004年(株)島津興業に入社。2009年より副社長。同社管理の「旧集成館」と「旧集成館機械工場」が「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」構成資産のひとつとしてユネスコ世界遺産の暫定リストに掲載されたことから、現在は世界遺産登録をめざした観光まちづくりの提言と観光事業による地域経済の発展をめざした活動を主務としている。

【お問い合わせ先】九州大学経済学研究院 秘書室
Phone: 092(642)2348
E-mail: hisho@econ.kyushu-u.ac.jp